

潜葉性蛾類の分類と生態

環境科学コース 佐藤 宏明



イチイガシを食樹とするモグリチビガの一種の成虫と潜孔

潜葉性昆虫とは、幼虫が葉に潜って葉組織を摂食する昆虫の総称である。その中でも蛾類は潜葉性を示す種の数が膨大であり、潜葉性蛾類それぞれの種の寄主植物の範囲が他の蛾類と比較して狭く、また、寄生蜂の種数が格段に多い。潜葉性蛾類のこれらの特徴に着目し、おもにムモンハモグリガ科、モグリチビガ科、ホソガ科を対象にして、(1)形態にもとづく分類学的研究、(2)生活史を含む個体群生態学的研究、(3)局所個体群の遺伝的分化と系統地理学的研究、(4)寄主植物との相互作用に関する研究、(5)寄生蜂群集の構造と機能および寄生蜂の多種共存機構に関する研究、を行っている。

キーワード：寄生蜂，生活史，潜葉性昆虫，鱗翅目，系統地理